

2023年5月18日
公益財団法人イオン環境財団

世界自然遺産 西表島にてビーチクリーン活動を実施

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田元也 イオン株式会社 取締役代表執行役会長 以下当財団）は、5月21日（日）に沖縄県竹富町の西表島中野海岸にて「ビーチクリーンアップ大作戦 in 中野海岸」と題し、清掃活動を実施します。

西表島は、2021年7月「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」として世界自然遺産に登録され、太古の昔から続く原生林が残る日本最後の秘境とも呼ばれており、国指定特別天然記念物のイリオモテヤマネコやカンムリワシなど、希少な生物が数多く生息しています。

当財団は、世界自然遺産に登録された沖縄県八重山郡竹富町西表島、及び国頭郡国頭村、大宜味村、東村の世界自然遺産保全を目的に、寄付ならびに環境活動を実施することを決定し、2021年12月に国頭郡3村へ各1,000万円、2022年5月に竹富町へ1,000万円を寄付いたしました。今回は、環境ボランティア西表エコプロジェクト、イオン琉球、早稲田大学 AEON TOWA リサーチセンターとともに、ビーチクリーン活動を実施します。当日は約100名が参加し、深刻な問題となっている、西表島に大量に流れつく漂着ごみを回収し、ごみのモニタリング調査など、地元の皆さまとともに西表島の自然を守る活動を実施します。

また、日本最大のマングローブ林のある西表島最大の川、浦内川にて、ジャングルクルーズやトレッキングを通して、西表島の素晴らしい自然を学びます。

当財団は、ひとつしかない地球を守るため、今後も様々な環境活動に積極的に取り組んで参ります。

■ビーチクリーン実施概要

日時：2023年5月21日（日）9：40～12：00

場所：沖縄県竹富町上原 中野海岸

参加者：西表島地域ボランティア

石垣地区黄色いレシートキャンペーン登録団体

イオングループ従業員とその家族等 約100名予定

内容：海岸清掃、漂着ごみ調査

主催：イオン琉球株式会社・公益財団法人イオン環境財団

共催：西表エコプロジェクト・早稲田大学 AEON TOWA リサーチセンター

後援：竹富町

以上

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（イオン株式会社名誉会長相談役）により、日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。以来、多様なステークホルダーの皆さまとともに「植樹」「環境活動助成」「環境教育」「パートナーシップ」の4つの事業を中心に活動に取り組んでいます。現在は、持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでいます。

【植樹活動】

国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、中国万里の長城などアジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。1991年からのイオン全体の植樹の累計本数は、1,255万本をこえています。昨年度、当財団は、北海道厚真町・南富良野町、宮城県石巻市、石川県金沢市、千葉県習志野市・君津市・山武市、滋賀県甲賀市、島根県松江市、宮崎県綾町等で植樹を行いました。また、海外では、香港、インドネシアで植樹を実施しています。

<沖縄県における環境活動>

2007年～2009年 那覇市植樹

那覇市南風原町のクリーンセンター施設の一角は、戦時中焼け野原となり、一画がゴミ処理場として利用されていましたが、その役目も終わり、地域の皆さまの憩いの場として生まれ変わるための「緑化推進」が計画されました。当財団はそれに賛同し、3年間にわたり約3,500名のボランティアの皆さまとともに30,000本を植樹しました。



2017年 糸満市植樹

糸満市にある平和祈念公園には、沖縄戦の写真や遺物を展示した平和記念資料館をはじめ、平和の礎や慰霊塔があり、国内外から多くの方が訪れ、平和を願う象徴的な場所となっています。当財団は、同公園が緑に囲まれて、皆さまにとっていっそう親しまれる場になることを願い、500名のボランティアの皆さまとともに、5,300本の植樹を行いました。



2018年 宜野湾市植樹

沖縄戦の戦跡で、平和学習の場となっている宜野湾市の嘉数高台公園は、市民の方々の憩いの場として利用されています。より多くの方が訪れるさくらの名所にしたいと願い300名のボランティアの皆さまとともに、1,000本のさくらを植樹しました。



苗木の里親プロジェクト

当財団は、社会も生活も大きく変わった2020年に「苗木の里親プロジェクト」を開始し、これまでに森づくりにともに取り組んできた地域ボランティアの皆さまに苗木をお預けしました。

1年間自宅や学校等で育てて頂いた後、その苗木を全国の「イオンの森」に植樹しました。沖縄県では、首里城復興支援の一環として、里親の皆さまに首里城の復元に必要となる「イヌマキ」を育てて頂いており、2022年6月に内国頭辺野喜ダム周辺にて100本の植樹を実施。首里城修復・保全に向けて、原材料となるイヌマキの木の森を育成し100年後も首里城が輝く文化財であるよう支援します。

